

平成 29 年度第 3 回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 平成 30 年 3 月 26 日 (月) 午前 10 時 45 分から正午まで
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 1 会議室
 出 席 者 坂井陽二、福安克彦、鶴飼宏成 (委員長)、亀倉正彦、河瀬英一、三村剛、
 伊藤正仁、山本康弘、平真弓
 欠 席 者 石黒秀一
 事 務 局 金山敏和 (企画部長)、川合陸仁 (企画政策課課長補佐)、
 野村圭一 (企画政策課市政戦略係長)、秋山純一 (企画政策課市政戦略係主事)
 説明の為に 蟹江健二 (産業振興課長)、鈴木敦詞 (産業振興課課長補佐)
 出席した者
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(3名)
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) にっしん版DMO構想について
 (2) 日進市総合戦略に掲げる数値目標及びK P I の現状値について
 (3) 平成 3 0 年度主要事業について
 (4) 日進市総合戦略の進捗管理について (答申)
 配 付 資 料 資料 1 にっしん版DMO構想について
 資料 2 日進市総合戦略に掲げる数値目標及びK P I (初期値・現状値・目標値)
 一覧
 資料 3 日進市総合戦略における平成 3 0 年度主要事業
 資料 4 日進市総合戦略について (答申) 案

	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題 (1) にっしん版DMO構想について
委 員 長	議題 (1) について、産業振興課から説明をお願いします。
産 業 振 興 課	(資料 1 に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委 員	にっしん版DMO構想は総合戦略の施策 3 - 1 「地域内経済や観光の活性化、創業の支援」の中に位置付けられていますが、この構想の中の取組は施策 3 - 1 だけに限定されるのではないと思います。ぐるぐるN I S S H I Nまちミル博覧会で実施された体験プログラム一つひとつは、施策 3 - 1 以外の施策に関連した

	<p>ものがいくつもあったと認識しています。このため、もっと広い視点でこの構想を考えていくことができると考えています。</p>
委員長	<p>にしん版DMO構想を通して行われる事業等はそれぞれ多面的な側面をもっているため、これらの事業によって、施策3-1に限らず、色んな分野に波及効果をもたらす可能性があるということだと思います。</p>
委員	<p>観光人材養成事業は、既に受講生を募集しているのでしょうか。</p>
産業振興課	<p>市民等の一般向けの参加募集については、今後実施していく予定です。</p>
委員	<p>第1回が4月10日からなのに、まだ募集をしていないのでしょうか。</p>
産業振興課	<p>本市ではなく、愛知学院大学が募集をする予定です。</p>
委員長	<p>細かい手続については把握していませんが、産官学連携講座ということで、平成30年度から愛知学院大学文学部において講座が行われる予定です。大学生にとっては、この講座を受けることで単位を取得することができます。受講生が大学生だけではなく、一般の方も受講できることや講師が本大学の教授だけではないという実務型の講座という特徴があります。一般の方向けの募集が始まっているかどうかはわかりませんが、学生向けの募集は既に終わっております。</p>
委員	<p>どんな形で募集するのかがわかれば、是非、教えていただきたいです。このようなことに関心がある市民に情報がいかないのはもったいないと思うので、募集方法がわかれば私の知り合いに伝えたいと思います。</p>
産業振興課	<p>わかりました。</p>
委員	<p>観光人材養成事業について、曜日が毎週火曜日と決まっていると、民間企業に勤めている人などの現役世代が受講するのは難しいと思います。良い講座だと思いますので、多くの人が参加できるような日程を組むことを検討されることを望みます。</p>
産業振興課	<p>平成30年度が初めて実施する講座となりますので、今いただいた意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
委員長	<p>学生を育成するということになると、どうしても平日の日中の時間になってしまいます。このため、にしん観光まちづくり協会が観光人材育成事業として週末型の講座を開催するようにするのか、あるいは、大学には集中講義もありますので、夏休みなどの長期休みの時に実施することも可能性としてはあります。いずれにしても方法論になりますので、平成30年度以降、平成31年度に向け、検討していただければと思います。</p>
委員	<p>今後の予定に、観光情報発信事業とありますが、まずは日進市がなにかやり始めたぞということを市内外に発信していくことが重要だと思います。非常にアナログ的な内容になると思いますが、人の集まる場所や人が通る場所に看板を設置したり、予算が許すならば有人スペースを設置することを検討していただければと思います。日進市の場合は赤池の大型商業施設や、赤池駅・日進駅・米野木駅が候補になると思います。看板にはWebサイト「ぐるぐるNISSHIN」に誘導するような仕組みがあればいいと思います。</p>

委 員 長	情報発信の現状の取組は、どのようなものがありますか。
産 業 振 興 課	資料1に記載してあるような、Webサイト「ぐるぐるNISSHIN」、Facebook、リーフレットなどがございます。今、意見いただいたことにつきましては、にしん観光まちづくり協会設立後に、検討させていただきたいと思っております。
委 員 長	名古屋駅の地下のデジタルサイネージにインパクトのある映像などの宣伝をしていたことがあったと思いますが、まだやっているのでしょうか。
産 業 振 興 課	デジタルサイネージによる宣伝は平成28年度の終わり頃に1か月だけ実施していました。
委 員 員	Bluetoothでbeaconの仕組みを利用すれば、スマートフォンなどをお持ちの方に位置情報サービスとして観光場所の案内などができたりするかもしれません。
委 員 長	技術の進化により多様な方法で情報発信ができると思いますので、是非チャレンジしてください。もちろん昔からやられているような宣伝方法も活用してください。
委 員 員	<p>今回、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会を実施してみて、例えば体験プログラムの催行率が79%など、いくつかの課題があったと思います。このようなことを踏まえ、今年度はどこまで到達し、来年度以降何を改善していくべきなのかといったいわばPDCAサイクルを回していく仕組みを構築することが大切だと思います。</p> <p>平成30年度の第2回ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会は10月からと、今年度よりも1か月早めた開催となっておりますが、事前にどれだけ多くの市民の方に知らせることができるかということが成否の分かれ目だと考えています。平成29年度は初めての開催ということもあり、多少後手に回った部分があり、募集の期間が短かったりしました。平成30年度は、この反省を生かし、開催日から逆算し、広報での周知の時期などを決めていただきたいと思います。そして、今年度好評だったプログラムについては、継続してお声掛けをし、是非参加していただけるようにしていただきたいと思います。</p> <p>市民協働課が大学連携提案制度に基づき、各種事業を実施されていると思いますが、この事業とぐるぐるNISSHINまちミル博覧会は決して無関係ではないと思いますので、うまく連携できるものがあれば是非とも検討していただきたいと思います。</p> <p>このようなことを推進していくことで、回数を重ねるごとによりよいものとなっていくことを期待します。</p>
委 員 長	PDCAサイクルを回すということは言葉で言うのは簡単だと思いますが、実際にやるとなった時に、どのタイミングで検証するかといったことを決めたりしなければなりません。大きな流れや効果測定という意味では、本委員会が役割を担ってもいいと思いますが、事業の中身に関するPDCAについては、より現場

	に近い場で絶えず実施していく必要があると思います。
委 員	平成29年度に、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会の冊子をどこで配布したのでしょうか。
産 業 振 興 課	公共施設での配布や、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会のパートナーの皆様による配布等をしていただきました。
委 員	私は、この冊子は広報と一緒に配布されると思っていましたが、実際にはそうではありませんでした。この冊子を見て伝わってくるがあると思いますので、予算の関係はあると思いますが、広報と一緒に配布されるとよいと思いました。 また、実施したプログラムについてどのくらい参加者がいて、どのくらいの満足度があったのかということがわかると次年度以降の参考になるのではないかと思います。
委 員	予算的に冊子が難しいということであれば、チラシでもいいので、全戸配布できるといいと思います。
産 業 振 興 課	平成29年度では、冊子の全戸配布となると30,000部を超えるので、予算的に難しいと判断し、広報そのものに記事を掲載しました。今いただいた意見は、今後の参考とさせていただきます。
委 員	平成30年度の第2回ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会の募集時期は、決まっているのでしょうか。
産 業 振 興 課	募集は冊子が完成してからになりますが、今年度よりも早めに募集したいと考えております。
委 員	プログラム自体の応募をする場合、企画するのに時間がかかるので、募集期間が短いと提案内容がありきたりなものになってしまいがちなので、早く募集していただきたいです。今年度は募集期間が短いこともありプログラムの応募数が増えなかったこともあると思います。 にしん観光協会まちづくり協会設立総会は平日にあります、仕事等で参加できない人に対してフィードバックできるようにしていただきたいです。
委 員 長	これは個人的な発言となりますが、行政が行わなくても、市民レポーターを養成し、その人にアクセスすることで情報などが手に入るような仕組みができるとよいと思います。
委 員 長	続きまして議題(2)について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料2に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委 員	施策3-2「便利で安全安心な暮らしの実現」のKPIのうち、「防犯対策を実践している市民の割合」の数値が初期値71.9%から67.4%に下がっていますが、これはかつて防犯対策をしていた人がやめてしまったというように解釈すればよいのでしょうか。
事 務 局	この数値は2年毎に実施している市民意識調査の結果になります。このため、初期値は平成26年度、現状値は平成28年度の数値となります。ご指摘のとおり

	り、数値は下がっておりますが、市民意識調査の対象は3,000人であり、統計学的に4.5ポイント下がったこととなります。防犯対策は、例えば刑法犯の件数が増えている状況であると、防犯対策をする人もあわせて増加すると考えられますが、反対に刑法犯の件数が減り、安全なまちだと思えば、防犯対策をしなくなる市民も現れるのではないかと考えております。いずれにせよ、どんな状況下であれ、防犯対策をしている市民の割合を増やしていくことが望ましいのではないかと考えております。
委員長	心理的な側面が働く数値ということだと思います。
委員	この数値は日進市総合戦略に掲げる重要な数値だと思います。数値が下がっていることに対する市民に対して説明する時に、心理的な要因が働き、適正に反映されない可能性があるということでは説明責任を果たせていない可能性があります。このため、この数値をKPIとして設定してよかったのかという課題が出てくると思います。
委員長	恐らく質問の仕方にも影響してくるのだと思います。アンケート様式という形式で調査をする場合、どういう書き方をすると、心理的要素が働くのかというようなことが仮に未検討ということであれば、今、委員からご指摘いただいたことについても市民は同じように感じるかもしれません。
事務局	この指標を設定したときには、数値を上げていくことを目標にしました。しかし、平成28年度に市民意識調査を実施したときに、数値が下がっている結果になりましたので、どうして数値が下がっているのかと現状分析をしていく中で、そういった側面もあるのではということが課題として挙がってきましたので、数値を上げられるよう対策を考えていかなければと考えております。
委員長	基本目標3「大都市近郊における働きを支えるまちを創生する」の数値目標のうち、「年間刑法犯罪発生件数」の現状値がまだ平成29年度が終わっていないので、568件よりも増加する可能性があるのではないのでしょうか。
事務局	この数値の現状値は、平成29年1月1日から同年12月31日の1年間の件数であるため、確定した数値となります。
委員長	続きまして議題(3)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき説明)
委員長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委員	計画に対してではなく、市全体に対する質問になりますが、日進市の正しい英語表記はどのようなのですか。
事務局	「NISSHIN」が正しい表記となります。
委員	市内の道路標識などで「NISSIN」と記載しているものがありますが、誤りということでしょうか。
事務局	道路標識につきましては、かつては「NISSIN」という表記で作成しておりました。その後、市民から統一性がないのではないかと問い合わせ等がありまして、数年前に市で「NISSHIN」で統一していくという整理をしました。

	道路標識についても、一度に全て「NISSHIN」に直すことは予算的に難しいため、新しく設置する標識については、「NISSHIN」と表記していくようにしております。
委 員	<p>平成30年度の総合戦略に関わる主要事業そのものに異論はありません。資料3の狭あい道路対策事業について、本市は人口が増加しているまちでありまして、現在でも区画整理事業などの開発が進んでおります。区画整理地内の道路は例外があるにしろ6m以上が原則となっています。しかし、昔からある住宅街については2～3mの幅の道路がありますが、今後これらの道路の拡幅は難しいと思います。このような道路は小型の消防車でも通れない状況にあります。このため、このような事業は大切だと思います。</p> <p>また、日進市内の事業所の数は2,300程度ありますが、この中で日進市商工会に加入されている事業所は市全体の半分程度となっております。大型商業施設の進出などがあり、路面店の廃業が進み、市の事業所数が増えても商工会に加入する事業所数が減っていくということになっています。しかし、事業者も納税者であり、事業者が廃業になったと聞くだけは簡単ですが、廃業に対する救済なども予算化していただけるとよいと考えます。</p>
委 員 長	本委員会は複眼的な視点で総合戦略を考えていく必要がありますので、今回いただきました意見も貴重な意見となります。
委 員 長	続きまして議題(4)について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料4に基づき説明)
委 員 長	<p>今の説明に関して質疑・意見等がありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それではこの通り市長へ答申させていただきます。答申については、一度進行を事務局へお返しします。</p>
事 務 局	<p>これから答申の準備のため、会議を暫時休憩とさせていただきます。</p> <p>(暫時休憩 市長入室)</p> <p>会議を再開します。それでは、委員長から市長へ答申をお願いします。</p> <p>(委員長が答申書「日進市総合戦略について」を読み上げ、市長へ手交。)</p>
市 長	(あいさつ)
事 務 局	<p>委員の皆様、それぞれのご専門やご経験から大変貴重なご意見をいただき、大変参考になりました。</p> <p>以上をもちまして、平成29年度第3回日進市総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
	閉会